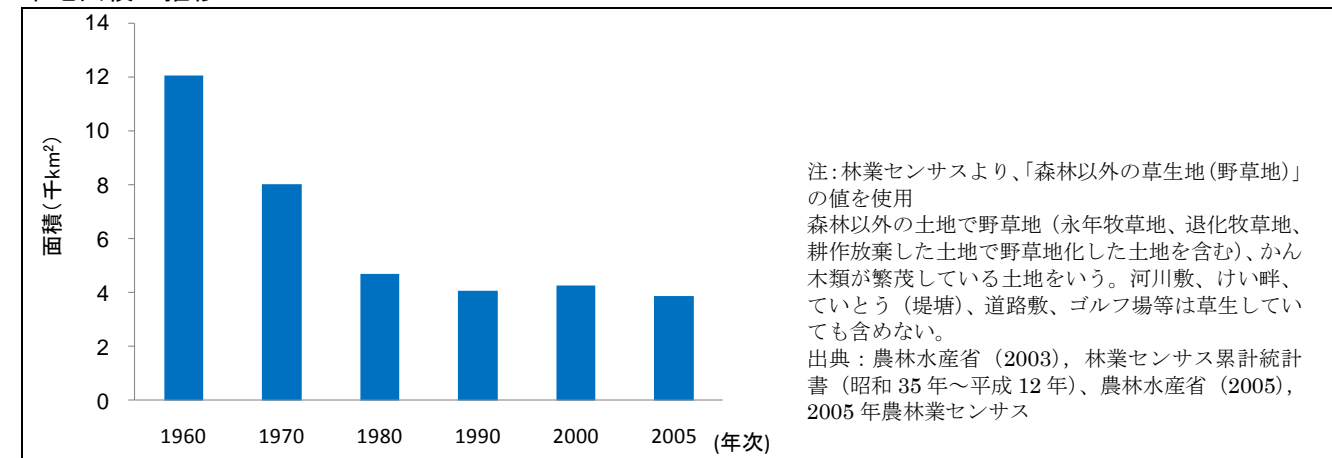


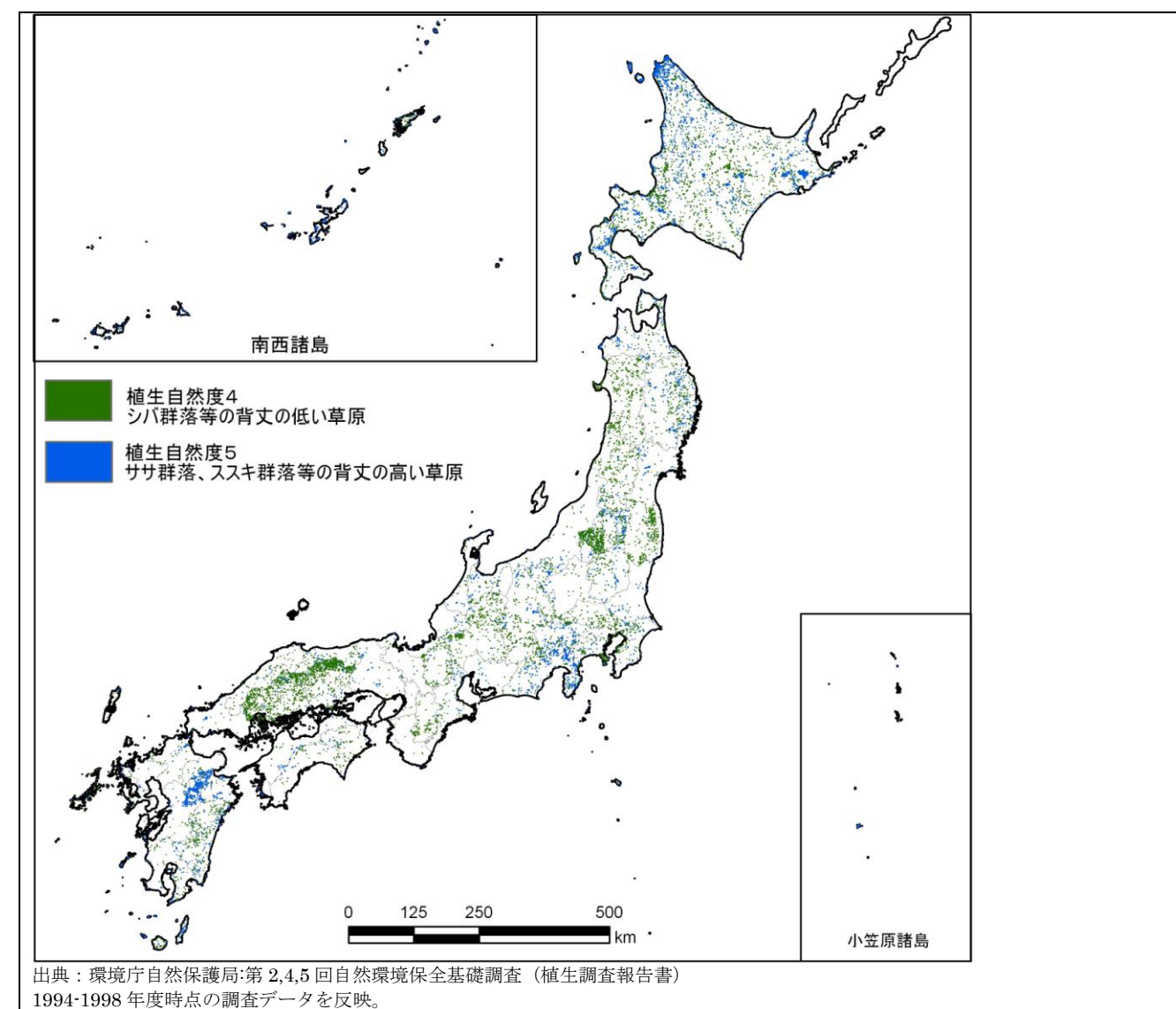
草原の変化に伴う草原性チョウ類への影響の事例

- 生活様式の変化に伴い、草原は過去50年間に大きく減少し、現在はわずかに残るのみである。
- 草原に生息・生育する昆虫や鳥類、植物には著しく減少したものがある。

草地面積の推移

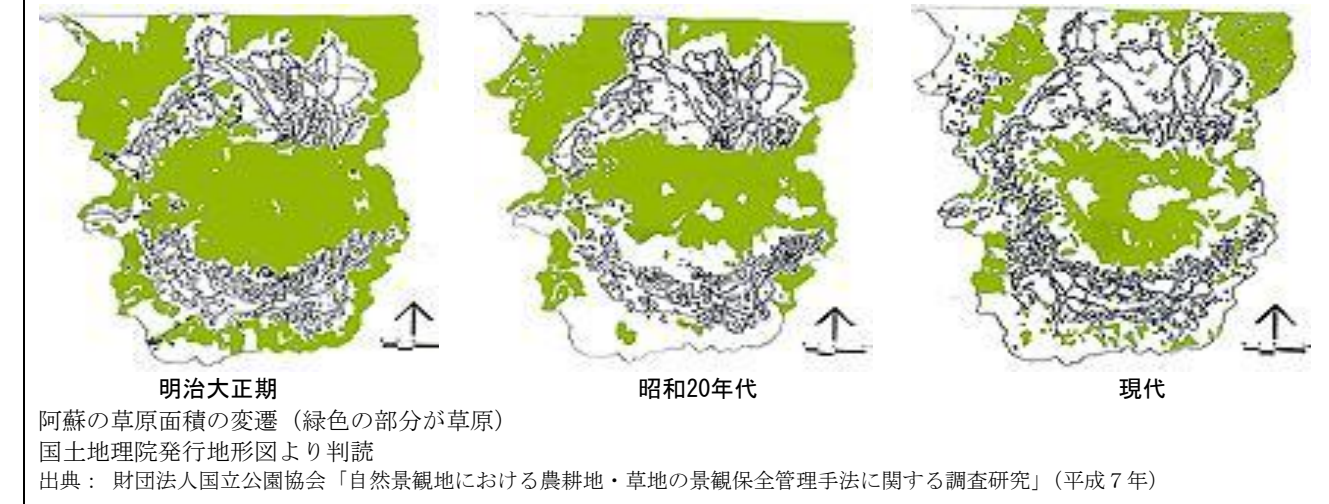


半自然草原の分布



阿蘇地域における半自然草原の変遷

生活様式の変化、畜産業の低迷、畜産農家の高齢化などにより草原維持活動が困難になりつつあり、近年は草原の面積の減少や変容が進み、草原環境が悪化している。



草原に生息するチョウ、オオウラギンヒョウモン(絶滅危惧I類)の分布域の縮小

かつては広く日本に生息していたが、1950年以降多くの生息地が消失し、現在は7県にのみ残るのみである。熊本県以外の生息地はごく僅かで、各県に数箇所ずつしかない。

